

ひとから真に求められる『心のケア』を考えます

べとれへむの風

発行：べとれへむの園病院 隔月15日発行 編集：広報委員会
住所：東京都清瀬市梅園三丁目14番72号 ☎042-491-2525 URL: <http://www.betohp.net>

No.136

「あなたにとって幸福とは何ですか？」 2026年5月

院長 青木 信彦



「あなたにとって幸福とは何ですか？」という質問に答えるのは簡単ではありません。

幸福の定義は人によっていろいろと違うし、時代によっても変わります。

しかし「どんな時に幸福と感じますか？」という質問に

は様々な意見がでてきて楽しいものです。

“つるん”と出たときが幸せという高齢の医師もいますが少数派（マイナー）です。

メジャーは「おいしいものを食べている時」で、だれもが間違いなく幸福を感じるようです。

親子や三世代の家族でワイワイやってくる焼き肉レストランの様子は、見ている人たちにとってもまさしく幸福です。

食べ放題のサラダバーの周りには、お皿をもってずらっと並び、サラダを前に「おいしいものを食べるぞ！という幸福」はみんな一緒です。日本に生まれて良かったと親に感謝します。

あおきも同じですが、胃切除を受けていて（もう40数年前になりますが）今でもあまり多くは食べられません。（食べ過ぎるとあとでダンピング症候群にイジメられます）

そのぶん、少ない量のおいしいものを食べている時は人一倍幸福になります。

昔、経団連会長だった土光さんの夕飯のおかずはメザシだったというのは有名です。お金持ちなのに、なんて質素な人なんだろうと思いました。しかし、いま考えてみますと、

儉約というよりも、メザシのようなものがおいしくなる年齢があるのですね。

あおきの年齢の日本人には「卵は豪華な食べ物」という子供の頃の感情がインプットされています。

☀卵の黄身を唇につけて学校へ行った子供がいました。“うちを卵を食べているんだぞ”と威張りたいたのです。

☀山盛りどんぶりゴハンに一個の生卵を乗せてかき混ぜ、それを子供たちの茶わんに分けて食べさせていた母親。“みんなでおいしいものを食べようね”という涙ぐましいひと時です。

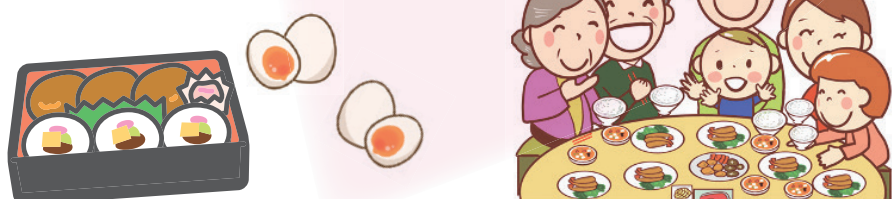
☀ゆで卵が食べられるのは、運動会と遠足の時だけでした。

弁当箱を開けて、ツルンと光るゆで卵とかんぴょう巻おいなりさんと対面すると子供心に感動しました。

めまぐるしい昨今、こんな場面を思い出していたら何か幸福な気持ちが湧き上がってきました。

そうです。「健康でおいしいものが食べられること」が幸福なのですね。

そして、あらためて～健康で仕事のできることに感謝です～。



医療相談室のある日の一日

-  08:40 **朝の準備・情報共有**
 病棟にて医師・看護師・リハビリスタッフとカンファレンスを行い、相談室に戻って相談室内で患者さんの状況や退院支援の進捗を共有します。
 
-  10:00 **入院対応**
-  11:30 **入退院検討委員会**
 周辺医療機関よりお預かりした入院希望患者様の情報を、医師・看護師等関係職種にて協議し、受入れについての検討会議を行います。
 
-  12:00 **昼休憩**
-  13:00 **入院面談**
 入院前にご家族様と面談を行っています。院内見学後、患者様のそれまでのご様子や、当院についてのご説明・ご案内を行います。
 
-  13:40 **病棟カンファレンス**
 入院患者様ご家族・関係職種が一同に会して、既往歴や現病歴、入院生活について、リハビリテーションのご様子なども含め共有し、療養方針の統一を図ります。
 
-  16:00 **記録・翌日の準備**
 相談内容の記録、翌日の面談予定の整理等を行います。
 
-  17:15 **業務終了**

ベトレヘムの園病院の 医療相談室では

3名のソーシャルワーカー (MSW) が患者さんやご家族が抱える不安や悩みに寄り添い、安心して治療に専念できるようサポートしています。また、無料低額診療事業も実施しております。

生活・制度・退院支援など、さまざまな相談に対応していますので、どなたでもお気軽にご相談ください。





3月・4月の ベトカフェ & ギャラリーマルゴ

開催報告

春の気配が感じられる3月、ギャラリーでは菅原忠氏による写真展を開催しました。桜を中心に、昭和記念公園の花畑など、春らしい色彩にあふれた作品が会議室いっぱい並び、来場された皆さんの心を和ませてくれました。



続く4月は、ニット作品の展示販売会を実施しました。細やかな技術が光る作品が数多く並び、これからの季節にぴったりのサマーニットは特に人気を集めました。手に取って質感を確かめたり、鏡の前で合わせてみたりと、多くの方に楽しんでいただき、ご購入も多数いただきました。



ベトカフェ&ギャラリーマルゴは、これからも皆さんの作品を発表し、楽しんでいただける場として運営してまいります。「ぜひ作品をお披露目したい」という方は、どうぞお気軽に相談室までお声掛けください。



5月の行事食「端午の節句 (子供の日)」

栄養科より
行事食紹介



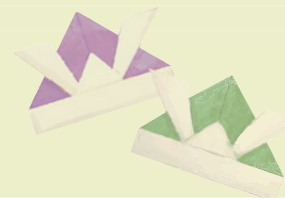
5月の行事食で菰ご飯を提供しました。

5月5日に菰ご飯を食べるのは、菰の成長の早さと真っ直ぐに伸びる特性から、子供が健やかに大きく育つという願いが込められた風習です。

菰の食材で、竹のように病気に強く健康であってほしいという健康祈願の縁起物としても親しまれています。

季節の食材を取り入れた食事でお客様に四季の移り変わりを感じていただき、喜んでいただけたら嬉しいです。

栄養科



ひふの話

その
88

市川 雅子(皮膚科医師)

麻疹(はしか)再び。

麻疹については以前にもお話したことがあります。今年に入ってから日本国内での麻疹発生の報告が相次ぎ、4月に入ると患者数の増加が著しく学級閉鎖なども出るようになってきたため、再度お話することにしました。

麻疹は、麻疹ウイルスによって発症する感染症です。感染力は非常に強く(インフルエンザの約10倍)空気感染や飛沫感染でうつります。潜伏期間は10日から12日。急に熱が出て咳や鼻水という風邪のような症状が出ます。この時期に口の中の粘膜に白いつぶつぶしたものが出ます(Koplik 斑)。3~4日後いったん熱が下がるものの、その後再び発熱し全身に赤い発疹が出ます。また、咳や鼻水以外にも下痢、嘔吐、リンパ節の腫れ、目の充血、頭痛などもみられます。これらの症状が4、5日続いた後、回復していきます。今のところ治療薬は無く発症したら対症療法しかできません。昔から「痘瘡(天然痘)の見目定め、はしかの命定め」という言葉もあるように、特に子供は肺炎や脳炎などの合併症をおこし死亡することもありますし、大人でも重症化することもあります。また、麻疹に罹って数年後に発症するSSPEという脳炎も治療法が無く致死率が高く非常に怖いものです。そして意外と知られていないのが、麻疹が治った後に数か月続く一時的な強い免疫抑制状態です。そのため他の病原体に感染しやすくなり、重症化しやすくなります。ですから、麻疹にかからない



のが一番良く、そのためにはワクチンで予防することが重要です。

日本は長らく先進国の中で唯一、麻疹が制圧できていない国として世界中から「麻疹の輸出国」との非難を受けてきました。2008年以降、日本でも子供の定期ワクチンの2回接種が始まり2015年3月にWHOから「麻疹排除国」の認定を受けました。しかし海外ではいまだ流行している地域があり、そこから持ち込まれることはあったものの、ワクチン接種がしっかりなされているときには大きな流行には至りませんでした。しかし2020年以降の新型コロナの流行で医療機関への受診控え、麻疹ワクチンの供給不足やワクチン全般に対する誤った認識の広がりなどにより、麻疹ワクチンの接種率が低下してきたところに、コロナ禍が明け、人の往来が増えて麻疹ウイルスが再び持ち込まれたため、今回のような流行が起きているのではないかと考えられています。この連休中に海外に出かけた方、国内で人がたくさん集まる場所で過ごした方も多でしょう。連休後に麻疹の流行がどうなるのか不安なところ。もし、熱が出て麻疹かもしれないと感じたら、医療機関に電話をして受診方法の指示を受けてください。また、麻疹ワクチンを打ったことがない、わからない方などは、抗体価測定をして抗体がなければワクチン接種をしてください。麻疹(はしか)は決して軽い病気ではありません。

麻疹接種がしっかりなされているときには大きな流行には至りませんでした。しかし2020年以降の新型コロナの流行で医療機関への受診控え、麻疹ワクチンの供給不足やワクチン全般に対する誤った認識の広がりなどにより、麻疹ワクチンの接種率が低下してきたところに、コロナ禍が明け、人の往来が増えて麻疹ウイルスが再び持ち込まれたため、今回のような流行が起きているのではないかと考えられています。この連休中に海外に出かけた方、国内で人がたくさん集まる場所で過ごした方も多でしょう。連休後に麻疹の流行がどうなるのか不安なところ。もし、熱が出て麻疹かもしれないと感じたら、医療機関に電話をして受診方法の指示を受けてください。また、麻疹ワクチンを打ったことがない、わからない方などは、抗体価測定をして抗体がなければワクチン接種をしてください。麻疹(はしか)は決して軽い病気ではありません。

お知らせ

6月の健康公開講座

無料健康公開講座



『家族が認知症かな?と思ったら』

軽度認知症は治療できる時代なので早期発見が大切です。



●日時：令和8年6月4日(木) 14:00~

●講師：当院医師 岡田隆晴

●会場：病院2F 会議室

●費用：無料

編集後記

涼しかった春風も超え、少し暑いと感じる季節になり緑もより映えるように思います。私自身、今年に入り香水作りやスポーツ観戦今まで経験したことのない事をしていなど実感しています。

今まであまり挑戦することをしてこなかったのですが、自分が少し1歩前に出て挑戦する事も季節が少し後押ししてくれたのかなと感じました。(A・I)

